

丸 山 里 美

2010年度に本学に着任しました。専門は社会学で、貧困とジェンダーのかかわりについて研究しています。特に女性のホームレスを対象とした社会運動に参加しながら、フィールドワークを続けてきました。この問題と関連の深いDV、売春、障害などのほか、海外の貧困問題にも関心を持っています。

1. 専門演習の目標

社会問題が起こる現場に足を運び、問題解決のための活動に参加しながら、結論をいそがず根源的に考え実践し続けることのできる、知的体力を身につけてもらうことを目指しています。

2. 専門演習で扱う課題と内容

本ゼミでは、フィールドワークを基本とします。社会問題が起こる現場に出かけていき、問題解決のための活動に継続的に参加しながら、福祉とは何か、自立とは何か、人とどう関わるべきか、自分の活動の意味など、一見先の見えないことをラディカルに問い続ける姿勢を大切にします。社会問題の種類や、活動のフィールドは問いません。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期は、フィールドワークの基本的な作法やフィールドと関わる姿勢の習得をしつつ、各自の関心に基づいてフィールドを選定します。

3回生後期からは、グループ単位でフィールドでの活動に参加しながら調査研究を進め、発表・報告書の作成までつなげていきます。

4回生ではそれまでのフィールドワークを継続しつつ、それぞれが個別の課題を設定し、卒業論文の完成を目指します。

4. 必要とする知識

特にありませんが、現実の社会に生起している問題や人に対する好奇心と、一つの課題に取り組み続ける粘り強さは必要です。

5. 関連する分野・科目・知識

社会調査関連科目は、必須ではありませんが、履修しておくことが望ましいです。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

必要に応じて、適宜指示します。

7. 独自に付加する選考方法

面接を行う場合があります。

8. 受講生に望むこと

ゼミの時間以外に、ボランティア等の形で社会問題の現場にかかわる必要があります。